



大島を見て聞いて感じて考える3日間

社会・生物・地学 伊豆大島校外研修 ー火山と共に生きるー

●活動の目的 ーミッションとはー

今回の研修では、**ミッション（使命・任務）**がキーワードでした。参加者には、各見学地点で、例えば「溶岩流の構造を上部、中部、下部と着目して溶岩流の断面をスケッチし、このような構造になるプロセスを考察せよ」のような課題が与えられ、その場で**実物を見て考える**という姿勢が求められました。さらに、**他人と議論し考察を深める**ことが、この研修で体験してほしいことがらでした。

●研修概要

◇10/6（金・開校記念日） 三原山にて火山地形・植生観察（共通）

外輪山より中央火口を遠望することから研修が始まりました。外輪山を下りカルデラ底に流れる**溶岩流を観察**しました（左）。

異なる年代の溶岩流が広がっていることから、**植生の変遷を観察**する（右）には最適な場所と言われています（教科書にも取り上げられています）



◇10/7（土） 大島町防災計画に関する講義（共通）・分野別研修（社会・生物・地学）

午前中には大島町防災対策室の方から、大島の防災計画について講話（左上）をいただきました。大島は1986年の噴火（全島避難）、2013年の土石流災害と、何度も被害を受けています。その経験を踏まえての町民の高い意識があることを知りました。

午後は、社会班が**波浮港の歴史に関する聞き取り調査**、生物班が**磯の生物の観察**

（左下）、地学班が**地層切断面の観察**（右上）と、各自のニードに基づいて**ミッション**に取り組みました。

夜のミーティング（右下）では、本日の**成果や感動を相手に伝えようというミッション**のもと、各班の発表が行われました。



◇10/8（日） 大島町郷土資料館見学（共通）・分野別研修（社会・地学）

郷土資料館で学習した後、地学班は**元町溶岩流の観察**、社会班は**下高洞遺跡の見学**に出かけました。

●参加生徒の感想から

- ・巨大な地層切断面。僕が一番興味を持ったのは、“**何で？**”や“**どうして？**”に対して**答えて、自分なりにまとめてゆく作業が本当に面白かった**です。
- ・一番意義があったと思うのは、「**考える**」ということです。**自分のもつ知識と想像力を使い、目の前の現実についてなぜそうなっているか考える**。普段しないことをたくさんできたのは**重要ななあ**と思いました。